

ひと・夢・まち 町長コラム

楽なこと、上手にやることを考えていませんか？（令和元年11月号） （西郷どんの教え vol.6）

この教えの本文は、「^{さぼ}作謀を用いず」です。

ことの大小にかかわらず、正しい道を真心をもって貫き通す。一事の策略を用いてはいけない。多く的人是困難なことに当たると一時逃れのごまかしをして避けて通るような策略を用いる。そしていったん通り過ぎると、あとは何とかなると考えるが、決してそういうものではない。ごまかしを通したわざわざいが、必ず生じて失敗する結果になるものである。正しい道で行えば、その時は回り道のように思えるが、長い目で見れば必ず成功は早いものである。

地方創生が叫ばれて5年、少子高齢化・人口減少に歯止めはかからず、東京圏一極集中も是正されずにますます拍車がかかっている現在、交流人口・関係人口を増やすことはまちづくりの一考と言われています。

しかし、イベントのような一過性のものでは町を生き続けさせることはできない。西郷どんとの縁、日体大の集団行動を含む合宿誘致、柏倉家住宅を含む紅花文化の日本遺産認定、そして国の重要文化財指定等、人を引き付ける資源は多くある。本物を継承・発信できる施策を考えることがこれからの課題だと思います。